

# 「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

## 「ヒバクシャ署名岩手の会」結成3周年記念行事 『あの夏の絵』公演迫る！

●12月7日(土)13時開場 ●都南キャラホール



「岩手の会」結成3周年記念行事として企画した青年劇場「あの夏の絵」公演まで一ヶ月を切りました。11月7日の幹事団体会議で前売り券の普及状況を出し合い、「このままでは結成記念行事に相応しい成功は危ない」との結論になり、賛同・加盟団体にもう一回り声掛けをし、必ず成功させようと確認されました。平和環境県センターでは、加盟組合などに前売り券100枚の普及に力を入れ、いわて生協は各販売店を起点に数十枚単位の普及に全力を挙げ、県原水協は市内の加盟団体を重点にしながらも地域原水協にも券の普及を訴えています。県被団協は三田副会長と下村事務局長が県高等学校校長協会、同PTA連合会が後援していることから、校長協会会長の盛岡第一高の校長とPTA連合会事務局長を訪問し、市内高校生の観賞を要請するなど全力を挙げています。前売り券普及の集約を11月21日行います！

### 声をかけ合い、誘い合いましょう！

国連軍縮週間（10月24日～30日）  
「ヒバクシャ署名岩手の会」一斉行動

県立盛岡第四高等学校門前  
生徒10人参加で下校時の署名行動

10月28日（月）県立第四高等学校で午後4時から30分間、下校時の生徒へ署名を呼びかけました。この行動に生徒会中心に10名の生徒さんがボランティアで参加。顧問の先生から参加した生徒の感想文が届けられましたので紹介します。署名は123筆でした。

・今回この活動に参加してみて、今まで積極的にこのような活動に参加したことがなく初めての活動だったのですが、実際やってみることで改めて核に反対する決意を固めました。核についての学習は日本人であれば小学校から学んできたことで、それだけで無くすべき兵器だと分るものだったので、その兵器をなくすことができれば原子爆弾の被害を受けた広島の人たちや長崎の人たち、戦後に水素爆弾の被害を受け第五福竜丸に関わる人たちの心が少し報われると思います。今、核の所持は武力による威嚇が主としたものとなっているので、武力に頼らないようになれば、できればいいと思いました。

・私は、この度初めて、非核署名活動に参加させていただきました。これまでの多くの文献、作品、メディアを通して、核のおぞましさや、その悲劇について学んできましたが、やはり、実際に核による惨状を経験された方の言葉は、陰りとその重みが違いました。今回多くの生徒が署名に参加した事実は、核の過ちを今の世代が認知し、繰り返してはいけないと考えていることの証明でもあり、非核の理念が受け継がれてきたことを目に見えて感じられる素晴らしい機会でした。核は抑止力などには成り得ず、核による平和などは存在しません。私達に必要なのは武力平和でなく、武力を捨てる結論に至る平和であると、署名活動に参加して改めて、知ることができました。

・今までは、テレビやインターネットなどでしか非核活動について知る



ことができませんでした。

しかし、今回実際に核兵器廃絶のための署名活動に参加してみて、改めて核兵器の怖さや核兵器廃絶の大切さについて学ぶことができました。また、日本が危険な兵器に使っている税金で子供から高齢者まで幅広い人たちの助けになることが分かりました。世界中が平和になることは難しいことだと思います。しかし、核兵器がなくなることで世界の平和に格段と近づくことができると思います。私も、核兵器廃絶の為、少しでも力になれるよう非核活動に協力していきたい。



## 「新しい署名用紙」(達増知事写真入り)で20万筆突破を早期に！

2016年12月「岩手の会」結成から使用してきたヒバクシャ国際署名用紙、幹事団体の代表が替わられたりしたので、新しい署名用紙を作成しました。表面は被爆者19人の訴えで変わらず、裏面に達増県知事と県被団協役員合同の写真を掲載することができ、多くの県民の皆様に訴えやすい内容となっています。枚数の希望は事務局（生協連、被団協）へ電話、fax、メールでお寄せ下さい！印刷でき次第お届けします！